

アカシア探検隊

M1・2002
 東京中小企業投資育成㈱
 社長室侵入の巻

甲.. 前回は(旭化成会長室侵入)ご苦労さん。

乙.. いやいや、そのお言葉だけで。(ゆーて、今回はまたイタシイ事いわんじやろうのう。頼むでえ。)

甲.. 今回はカルビー会長の松尾康二先輩じゃ。広島工場

で話が聞けるけえ、こんだあ楽で。

乙.. オー。ラッキー。(かつぱえびせんマヨネーズ風味をよーけもろーて帰ろー！)

松尾.. おー、よー来たのう。ほん島工場へ行くど。

甲.. 「アカシア探検隊」のインタビュです。

松尾.. ワシあ昔出たことがあるで。同級の熊野にせえや。今から携帯で話つけちやるけえ。

「(携帯会話中)」
 よっしや、話はずいいたデ。専用ヘリ用意したるけえ今から行つて来い。インタビュー終わつたら旨いもんでも奮つちやるう。

甲.. 乙.. (ハナシがチガアウ！)

でも、旨いもん食べるんなら、まあいつか。……
 ということで、メルセデスのリムジンが待機する、アカシア会専用の東京渋谷ヘリポートへ降り立った二人であった。

21世紀アカシア会報インタビュ第2弾は、46回卒の熊野英昭先輩の登場です。1960年の通産省入省以来、総理秘書官、官房長、産業政策局長、通産省事務次官と、日本の産業経済政策の中核を担つてこられ、現在東京中小企業投資育成㈱の社長を務められておられます。



甲.. いきなりですみません。熊.. いやあ、よく来たね。記事はよく読んでるよ。
 乙.. 有難うございます。早速ですみませんが、附属校時代の思い出をお聞かせください。

熊.. 僕は小学校から附属だったんだけど、いい学校だったと思いませんよ。何が良かったかといつて、まず自由な校風だったこと、そして、一貫教育だったと言つて、先生方が皆立派な方々だったと言つて、自由な友人、先輩・後輩、先生方、教育実習生、その他の関係があったですね。友人はもちらん、当時の先生方のお付き合いが今でも続いています。特に藤井千之助先生とは今でも親しくさせて頂いていただいています。

甲.. 私は怖い先生という印象しかないんですが。

熊.. うーん、まあそうかもしれないね。当時先生は新婚で、夏休みと同級生の天方博昭君(留学の為47回卒)と二人で10日間ぐらいい留守番をしたことも思い出の一つにあるねえ。フランス大使館に勤務してた時なんか、わざわざ訪ねてこられた事もあったりしてねえ。

先生が先般出された本(お問合わせはアカシア事務局まで)にもそこら辺のエピソードが出てくるよ。とにかくそんな感じで、自由ない雰囲気な学校でしたよ。

甲.. 今でも同窓会が盛んに行われていると聞いてますが。

熊.. ええ、有志では毎年やっていますよ。松尾君が統括責任者みたいな感じでやってくれて、ドンちゃん騒ぎしています。最初は同級生だけだったんだけど、今ではだいぶ

幅が出来て、色んな年代のアカシア会員や、その奥さんが参加することもあるんですよ。その時はやはりアカシア特有の例の雰囲気が出てきて、非常に盛り上がります。一貫教育で長い期間少年時代を一緒に過ごす良い面がこんなところに顕れるのかなあと思います。

乙.. 東京大学を卒業後60年に通産省に入省され、その後現在に至るまで実に多くの産業・経済政策に関わつてこられたわけですが。

熊.. ーん、そうですね。色んな事やってきたけど、どうしても最近の経済状況に目が行つてしまうわけですよ。現在の戦後最悪とも言える状況に至つてしまつた原因はさまざまあるけれど、そのうちの一つに団塊の世代の問題があるかもしれないですね。80年代の初頭、鈴木総理時代に産業構造課長をやつていて、産業構造に関わる政策策定をやつてました。実はその時から心配だつたんですよ、団塊の世代の事が。彼らが働きバチと呼ばれ、年功序列制度の中でやつと報われる、銀行で言えば支店長クラスになるだろう、子供たちが大学生になるだろう頃に、もつと経済のパイを上げておかないと大変な時代になると主張して、当時の答申にも書いたんですけれどねえ。

甲.. 乙.. そういう意味では90年代の問題の一部は、裏を返せば団塊の世代が時代と正面からぶつかつて起こつたのかも知れません。そうは

言つても、要は80年代に浮れ過ぎちゃつたんですよ。日本は。コンパなんか例えれば、盛り上がりつつる最中に「明日もあるからそろそろ帰ろうよ」といつても誰も聞かない。逆に「何言つてるんだ。盛り上がるのはこれからだ。」と言われてどんどんいっちゃつて、グデングデンになって電柱に頭ぶつけて大怪我しちゃうようなもんですよ。それで死にはしないけど未だに入院中なわけだ。

若い頃は先進国に追いつけ追い越せでやってきたのが、80年代になると日本は世界の最先端工場と呼ばれるようになり、自動車、VTR、テレビその他家電製品などで世界のトップに踊り出しました。すると今度は貿易摩擦の問題が出て来て、若い頃にやつた事とは全く逆に近いような事もやり、日米構造協議や外国人労働者問題もやつて90年代に入つてパブル崩壊で不況対策、構造改革とやつて来て。

乙.. そういう意味では、経済の大きなワンスイクルを見てこられたというのでしょうか？

熊.. そうねえ。40数年間になるけど、そうなるのかなあ。でもあつと言う間だつたね。

甲.. 事務次官時代(93-95)のお話もお聞かせ願ひませんか。ちょうど政権交代とパブル崩壊直後で大変な時期だつたと思うのですが、熊.. 皆さんご存知のように、当時

